

# 平成27年度 豊明市特別職報酬審議会

## 議 事 録

### 第1回

平成28年2月3日（水）

## 豊明市特別職報酬審議会議事録（第1回）

- 1 日 時 平成28年2月3日（水）  
9時30分から11時30分まで
- 2 場 所 豊明市役所本庁舎東館4階 第2委員会室
- 3 出席委員 会 長 辰野 勝五  
会長職務代理 外山 隆一  
委 員 鈴木 禎司 服部 実希  
原 由美子 望月 馨
- 4 欠席委員 森田 哲夫
- 5 事務局 行政経営部長  
秘書広報課長  
秘書広報課事務局職員2名
- 6 次 第 (1) 市長あいさつ  
(2) 辞令交付及び委員紹介  
(3) 会長選出及び会長あいさつ  
(4) 会長職務代理選出  
(5) 諮問書手交  
(6) 審議  
(7) 答申書手交  
(8) 市長あいさつ及び会長あいさつ

- 7 会議資料
- 資料 1 豊明市特別職報酬審議会条例
  - 資料 2 豊明市特別職報酬審議会委員名簿
  - 資料 3 特別職の給与及び議員報酬額の改定について
  - 資料 4 県内団体別特別職報酬等一覧表
  - 資料 5 県内各市の報酬審議会の状況
  - 資料 6 豊明市の年度別決算状況及び各種指数表
  - 資料 7 豊明市の年度別市債及び基金の推移
  - 資料 8 豊明市特別職の給料及び議員報酬改定状況
  - 資料 9 改定額の基本的な考え方及びその額について
  - 追加資料 県内各市の報酬審議会の状況【類似団体】

## 8 審議内容

【会 長】 それでは、審議会を始めたいと思います。まず会議の公開についてどうするかということでございますが、会議の公開について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 （会議の公開について、平成14年度の決定事項を説明。）

【会 長】 それでは、今説明のありました平成14年度決定の傍聴は認めず、今年度も同様に非公開で行うことでよろしいでしょうか。

【会 長】 それでは、会議の中身に入っていきたいと思います。たくさん資料が配布されていますので、その資料の説明を事務局からお願いします。

【事務局】 資料1から9までの説明

【会 長】 今の説明の内容について、みなさまご質問がありますか。

【委 員】 人事院勧告では民間賃金が上がっているとあったが、その民間事業所の調査対象はどのようなものか。

【事務局】 調査は、従業員が50人以上の全国事業所を対象に約12300の事業所の実地調査を行い、国家公務員の給与と比べて0.36%、金額で言うと1469円高いという結果が出ております。

【委員】 それでは、従業員が 50 人未満の事業所は調査していないということですか。豊明市では従業員が 50 人以上の事業所が少ないと思うが、50 人未満の事業所の実態は考慮されていないということですか。

【事務局】 人事院勧告では考慮されていません。独自で調査することは難しいため、職員の給与は、地方公務員法で国家公務員に準拠して定めることとされています。

【会長】 教育長の立場は変わりますか。

【事務局】 法律が改正され、今後は特別職となります。

【会長】 4月からですか。

【事務局】 現在の教育長の任期中は、従前どおりですが、それ以降につきましては特別職となります。

【会長】 たくさんの資料がありますが、基本的には財政力と人口規模を勘案して審議していかなければならないと思います。

【事務局】 愛知県は特別な地域で、製造業関係のおかげで全国の中で財政は良いです。豊明市の財政は、愛知県の中では真ん中ぐらいで、財政力指数を見ても全国平均の 0.5 と比べ、0.9 と全国で見れば良いと言えます。ただし、今後の問題として公共施設の老朽化があります。20 年後には建て替えが必要となり、財政が必要となってきます。

【会長】 市の庁舎等の耐震工事の済んだ率はどのくらいですか。

【事務局】 建物としては、現在行っている市役所の庁舎が最後であるが、平成 26 年に建築基準法が改正され、施設の天井の修理をしなければならない。来年度設計し、再来年度に工事の予定です。公共施設の老朽化問題は、どの市町村も同じことが言えるが課題となります。老朽化を放置すると事故につながるためやらなければなりません。

【会 長】 結論は後で各委員に聞きますが、他に質問等ございますか。

【委 員】 特別職に地域手当がついている自治体がありますが、基準はありますか。

【事務局】 明確な基準はありません。自治体によっては、一般職に準じて支給しているところもあります。豊明市は支給していません。

【委 員】 公共施設に費用が必要となるが財源はどのように考えていますか。

【事務局】 公共施設にかかる維持管理費用が約20億円かかっているため、その3割を減らすと市民の負担無く進める予定です。3割減らすためには、公共施設の必要性を考え、優先順位を決めて、選定しなければなりません。そうして統合、廃止できるもの決めていきたい。

【委 員】 そうすると、市民サービスの面が低下となりますが。

【事務局】 市民サービスが低下しないように、施設を多機能化していければよいと考えます。

【会 長】 問題はたくさんございますが、市民の声も聞きながら進めていかなければなりませんね。

【事務局】 委員会やタウンミーティングを開き市民の方にも参加していただきたいと考えています。

【会 長】 現在、正規職員と非正規職員の比率はどれくらいですか。

【事務局】 約正規職員が500人、非正規職員が600人ですが、正規職員に換算すると350人です。当市は、指定管理者制度が遅れている関係で、非正規職員数は多いです。

【会 長】 それでは、一通り資料を確認しましたので、みなさまのお考えを教えてくださいませんか。

【委 員】 将来公共施設にかかる費用等で豊明市の財政状況が厳しいと思いますし、他市町村と比べても低い位置にはいないため据え置きが良いと思います。

【委員】 報酬を上げることは考えられない。据え置きで良いと考えます。

【委員】 同様に据え置きで良いと思います。

【委員】 据え置きでよいと思います。

【委員】 比較的に財政力指数も良いため、良いうちに今後のため若干引き下げても良いと考えます。

【事務局】 4月以降特別職は給与カットをする予定です。

【会長】 みなさまの意見をいただきましたが、据え置きという意見が多く、3月議会に上程し、4月から給与カットするということなので、この給与カットを勘案して据え置きとすることで取りまとめてよろしいでしょうか。

【会長】 それでは、据え置きということで取りまとめたいと思います。いったん休憩とし、答申書を作成させていただきます。